

## 知事と区市町村長との意見交換

### (江東区)

令和 5 年 12 月 22 日(金)

11 時 15 分～11 時 30 分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いします。

○知事 おはようございます。

○江東区長 おはようございます。

○知事 今日は大トリです。御苦勞様でございますが、しっかりと江東区民のために頑張っていたきたいと思います。ということで、今年の恒例です。地域の課題、都政に関する要望ということで、早速伺わせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○江東区長 よろしくお願いいいたします。それではまず江東区の特徴的な事項三点についてお話をいたします。

まず、人口の増加です。江東区の人口は平成 10 年から増え続け、12 月 1 日現在 53 万 9127 人、特別区で八番目となっております。南部地域を中心とした大規模集合住宅の建設に伴う社会増や外国人の方の増加が特徴となっております。

次に、まちづくりの関係です。地下鉄 8 号線の延伸について、昨年 3 月に鉄道事業許可があり、各種手続きが進められています。江東区では 2030 年代半ばの開業を見据え、本年 3 月に「沿線まちづくり構想」を策定し、整備効果为本区の発展に最大限生かすべく、現在地域住民の方と議論を進めているところです。にぎわいを創出するまちづくりを進めてまいりたいと思います。また、臨海部のまちづくりについては、東京 2020 大会のレガシー施設も含め、豊洲、有明などで大規模な開発が続くとともに、「海の森公園」が整備されるなど著しい変化が続きます。東京都と共にベイエリアの魅力に最大限生かした、夢のあるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

引き続き、意見交換のテーマ、防災対策についてでございます。新たな「東京都地域防災計画（震災編）」では、マンション防災、防災 DX の展開を打ち出されております。本区では 8 割以上の方が集合住宅にお住まいで、タワーマンションも増加しております。また、スマートフォンの普及など、デジタル化の流れを捉えた防災対策の重要性は本区も同じ認識であり、11 月に「江東区地域防災計画」を改定し、マンション防災や防災 DX の推進を掲げたところであります。区としては引き続き東京都と連携し、首都直下地震のみならず激甚化している水害を見据えた防災対策に取り組む必要があると考えておりますので、引き続きの支援をお願いしたいと思います。

特に水害への区民の不安は根強く、避難場所の確保が課題となっております。現在、都と一緒に広域避難の検討を進めておりますが、居住地の近隣でいつでも安心して避難できる

垂直避難場所の確保、充実も課題となっております。本区では、今年度からマンション、町会、区による協定に基づき、地域住民が緊急的に近隣のマンションに避難できる取組を開始いたしました。マンションが近隣住民を受け入れるにあたっては、防犯面への対応や必要な物資の確保などの課題がございます。このためマンション住民の自助、共助を踏まえた地域連携マインドの醸成や、インセンティブとしてのマンションへの資機材供与など、近隣住民を受け入れていただく環境整備に向け支援をお願いしたいと思います。

次に、都営住宅についてでございますが、自治会の方々からは集会室が1階にある場合に浸水の際に活動できない、避難できないというお声や、備蓄物資を置くスペースを高いフロアにつくってほしいという声をいただいております。都営住宅の建て替えに当たっては、上層階に集会室を設置し、低層階や近隣の住民の避難スペースを確保するとともに、備蓄物資の保管場所としても活用できるような配慮をいただきたいと思っております。

現在、東京都では都有施設をはじめ、広域避難先施設の拡充を進められております。施設の運営は、その施設を利用する区が行うことが基本となっております。広域避難が必要な状況においては、区の職員は区内の避難所の対応にも追われるため、広域避難先施設の運営は困難を極めると想定されます。都職員の派遣を含め、人員確保に向けた広域的な調整をお願いしたいと存じます。

最後に、防災DXについて、本区では、東京都のシステムとの連携強化も視野に入れ、災害情報の収集発信から避難所運営に至るまで、デジタル化により実効性を高めるための検討を開始いたしました。民間においては、新たなサービスがさまざま開発されている状況です。新たな防災システムの導入や無線網の再構築などの情報ネットワークの見直しを実施する場合には、多額の経費がかかることが想定されますので、補助制度の創設拡充などの御支援をお願いしたいと思います。私からは以上です。

○行政部長 それでははじめに知事からお願いします。

○知事 初めての議会での御挨拶も無事堂々と終わられたと聞いております。頑張ってください。そして、具体的に区民の生命、健康を守るという施策について、江東区の情勢についても今お話しいたしました。やはり私も一緒にずっと回らせていただいて、あちこちにまた新しいマンションの建設が始まっているということ。人口も今後も増え続けるであろうと、それもマンションが増えるという状況だと思っております。前も申し上げているんですけど、1,400万都民の内900万人がマンションに、共同住宅にお住まいということですから、このマンション防災というのは極めて重要な、特に江東区の場合、重要な課題になってくると思っております。

「東京とどまるマンション」の普及を都として進めているわけですが、これは災害時でも、停電していても、自宅での生活を継続できると。トイレとかエレベーターなどの問題が停電になりますとすぐ出てくるわけですがけれども、そういった時のバックアップについて、簡易トイレ、そして防災備蓄品の購入支援などを都として行っております。これをうまく利用していただくということ。それから居住者の自らが備えを進めるための自助、そして地域住民等との連携による共助、この取組も欠かせないわけでありまして、前に、自治会といいまし

ようか、マンションの管理組合で大変うまくやってらっしゃるところっていうのは、日ごろの毎日の挨拶が実は基本なんです、ということをおっしゃってました。また、そうやっていくことによって、お互い守っていきましょうねと、共に守っていきましょうね、という空気が生まれて、マンション内の危機意識の共有とか、そしてまた近隣の地域との連携が深まっていくという、そういう流れをぜひつくっていただきたいと思います。

町会や自治会や地域団体と連携して行う防災活動などの取組なども都として支援をいたしております。それから、「防災ブック」、「東京くらし防災」それぞれ今、地域ごとに配布をしているところですが、その中にもこれが入っていますので、これマンション防災ですね。これまた区でもアレンジされるとか中身はやはり江東区バージョンというのをこれからもお作りになるとか、いろいろあると思いますが、いずれにせよ都民も区民も命を守り、財産を守る、同じですから、しっかり連携しながら進めていきたいものだと思っております。今後もマンション防災を一層推進することで、都民、そして区民の安全・安心を確保してまいります。よろしく申し上げます。頑張ってください。副知事から続けます。

**○副知事** 区長おはようございます、副知事の黒沼です。私の方からは区長からお話がありました、大規模風水害対策と防災 DX 関係について、東京都の今の取組と、今後の考え方等についてお話をいたします。

大規模風水害、これもいつ起こるかわかりませんが、唯一他の災害と違うのは、ある程度タイムラインが予測できるというところがございます。こういった特性を踏まえて、東京都は御案内のとおり、「東京マイ・タイムライン」という取組を行っております。アプリ版も配信を加えたことに、それに加えて、「我が家の水害リスク診断書」というものを今、配布しております。江東区については約9万世帯というふう聞いておりますけれども、配布を先月完了したところがございます。ぜひ、皆さんにタイムラインをつくっていただいた上で水害に備えていただきたい。これが意識の醸成のお話でございます。

続きまして、広域避難のお話もございました。江東区を含む東部の低地帯は広域避難、これは不可欠でございます。広域避難のお話も伺いました。このため都も、国立オリンピック記念青少年総合センターなど広域避難施設を順次確保しております。こうしたハードの確保だけではなくて、具体のオペレーションですね。区の職員と都の職員、そして民間の皆様と連携をして機動的に運営ができるように、こういった体制を平時から確保していく必要がございます。お話ありましたが、都の職員の派遣も含めて機動的な体制構築に向けて調整を進めてまいります。

そして、都営住宅の建て替えの中で、高層階に避難できるような建て替えをお願いしたいというお話がございました。貴区の中の塩浜二丁目団地でございますが、こちらは上層階に集会所を設置する予定でございます。こちらにいざというときに避難をいただく、あるいは備蓄物資の保管についても、その他構造上の制約等はあるかもしれませんが、団地内の自治会とも調整をさせていただきながら、個別に協議をしております。

最後に防災 DX のお話をいただきました。東京都の防災システム DIS ですね。こちらと貴区がこれから導入、改善を予定されている区の防災システム。これがスムーズにシームレス

に連携ができるように、今東京都も防災部を中心に連携を図っております。支援のお話もございましたが、こちらもう区は活用されているようですが、国のデジ田交付金ですね。デジタル田園都市国家構想交付金を一部充当されているようですが、こういったものを活用いただきながら有機的な区のシステムと連携ができるように、引き続き都としても取り組んでまいります。私から以上です。

○行政部長 こちらからの発言は以上になりますが、区長、特に追加の御発言がございましたら、どうぞ。

○江東区長 今、知事、副知事からいろいろ心強い御言葉をいただきましてありがとうございます。引き続き、東京都と連携しながら、江東区民の方の命、生活をしっかり守るために取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きの御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

○行政部長 それでは以上で江東区長との意見交換、終了させていただきます。ありがとうございました。本日の意見交換以上で終了となります。